

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 2 columns: 住所名称, 内野戸中才, 内野西1~3丁目, 内野早角, 内野町, 内野山手1・2丁目, 新田, 大学南1・2丁目, 五十嵐2の町, 五十嵐3の町, 五十嵐3の町北, 五十嵐3の町中, 五十嵐3の町西, 五十嵐3の町東, 五十嵐3の町南, 五十嵐下崎山, 五十嵐中島1丁目, 内野潟端, 内野潟向, 内野崎山

●位置図



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table with 7 columns: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Lists facilities like 内野小学校, 内野中学校, 新潟大学(体育館).

●施設・団体

Table with 2 columns: 施設・団体, 西出張所, 内野駅前交番, 西方面隊 坂井輪分団・内野分団, 内野, 大学南第一公園, 幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, 障がい者福祉施設

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table with 7 columns: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Lists facilities like 西内野小学校, 西コミュニティセンター, 新潟西高等学校, etc.

●人口

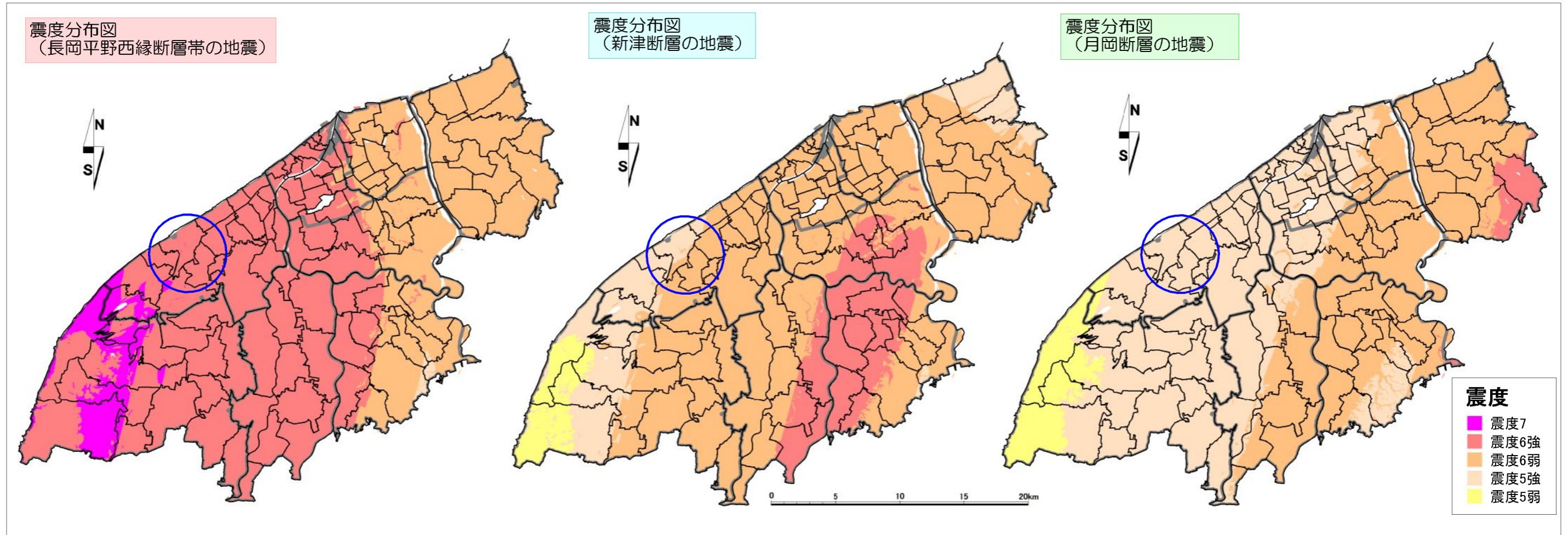
Table with 4 columns: 人口, 16,561人, 地区の割合, 市の割合. Includes pie chart showing age distribution: 0~4歳 (4.2%), 5~14歳 (7.9%), 15~74歳 (76.1%), 75歳~ (11.8%).

●建物関連指標

Table with 4 columns: 建物関連指標, 7,885棟, 地区の割合, 市の割合. Includes pie chart showing building construction status: S55年以前建築 (34.9%), S56年以降建築 (65.1%).

●災害危険性の評価

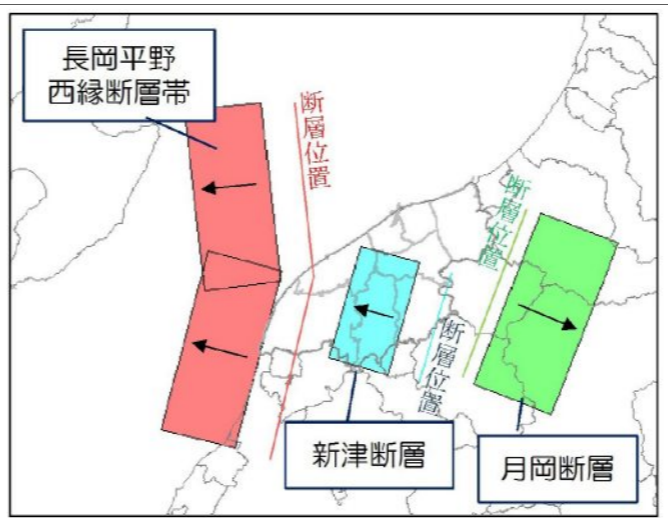
Table with 2 columns: 地震・津波, 水害・土砂. Describes risks like liquefaction, flooding, and landslides.



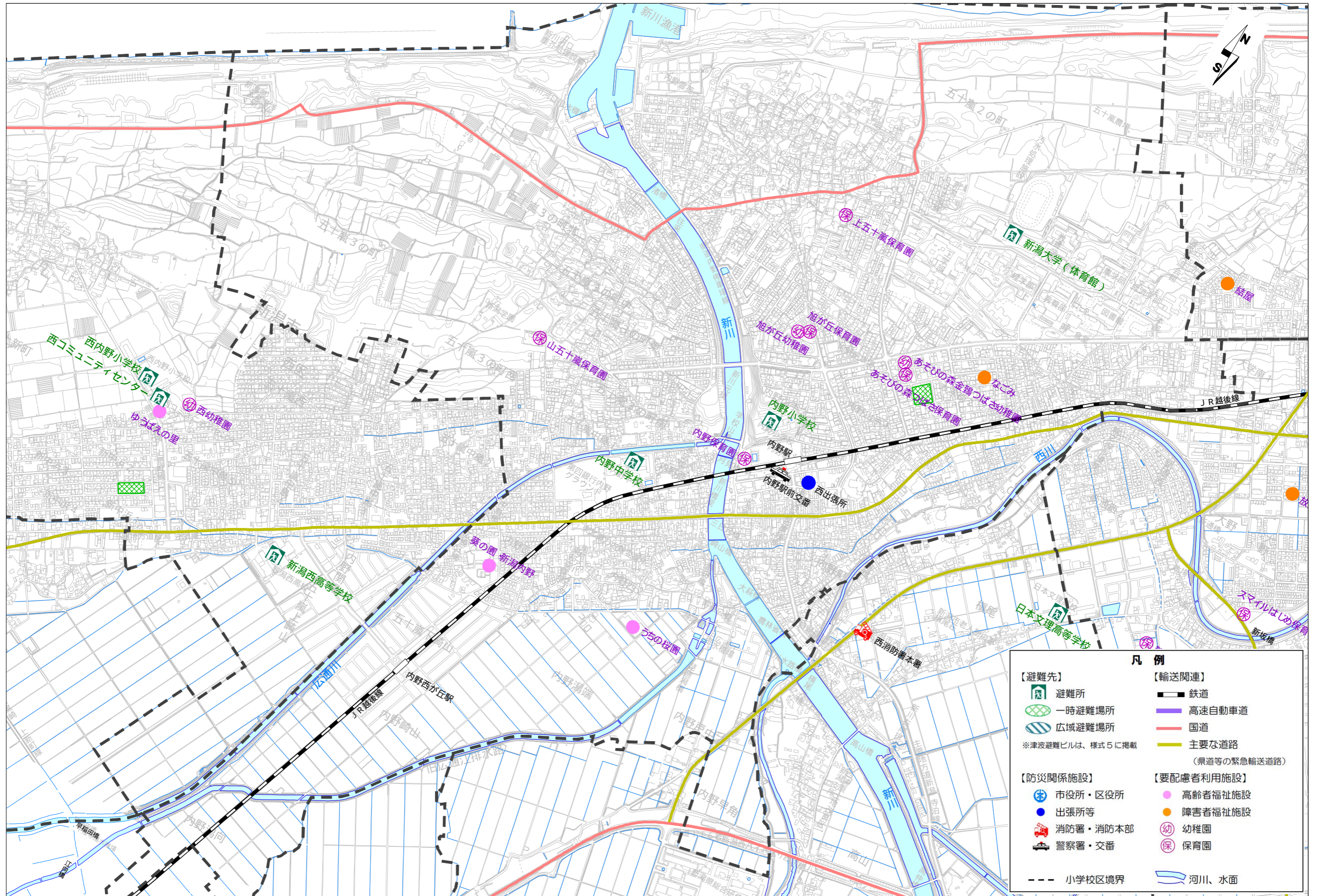
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

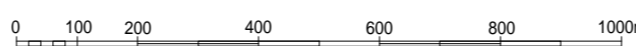
<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

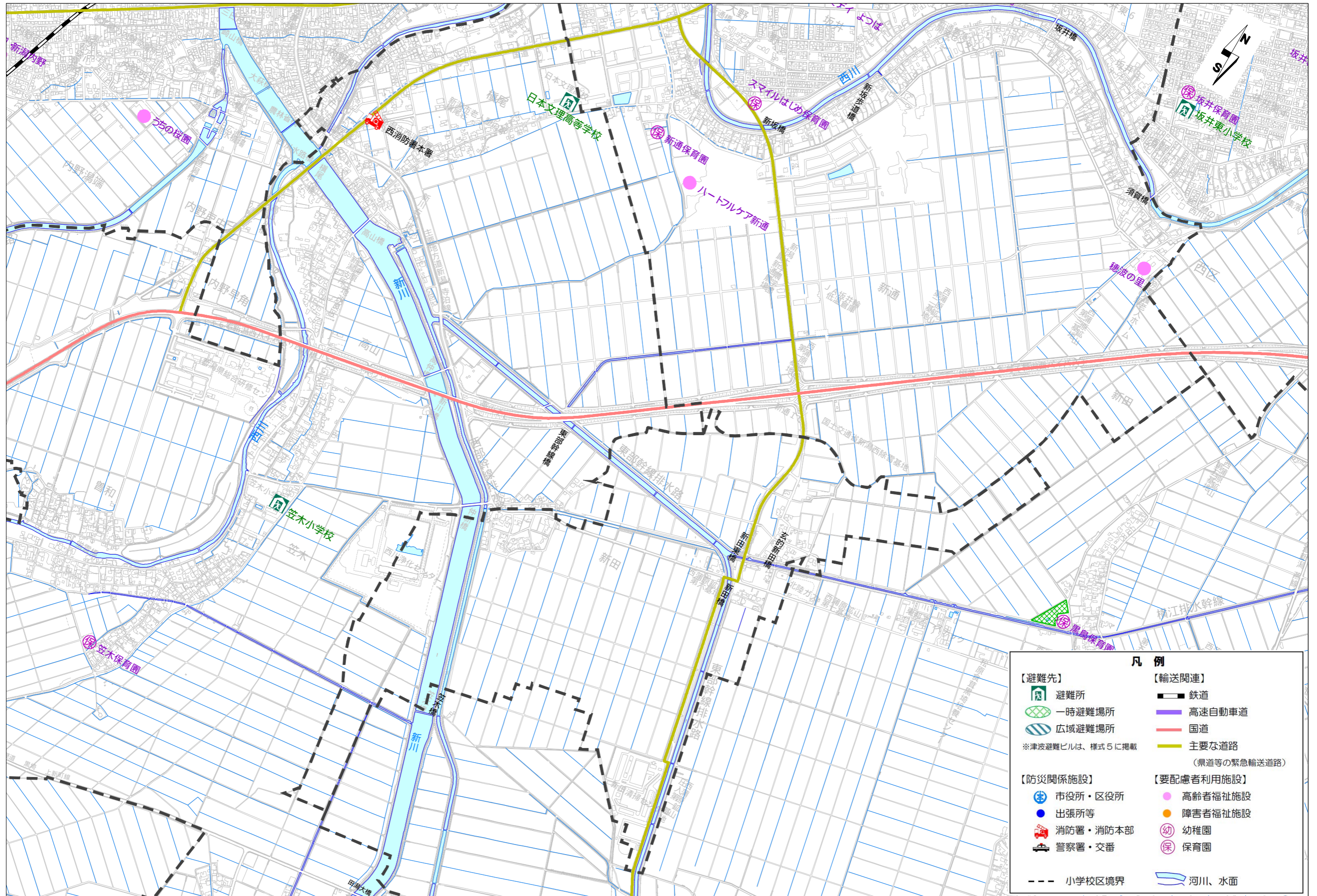


← は、断層の傾きを示しています。



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)

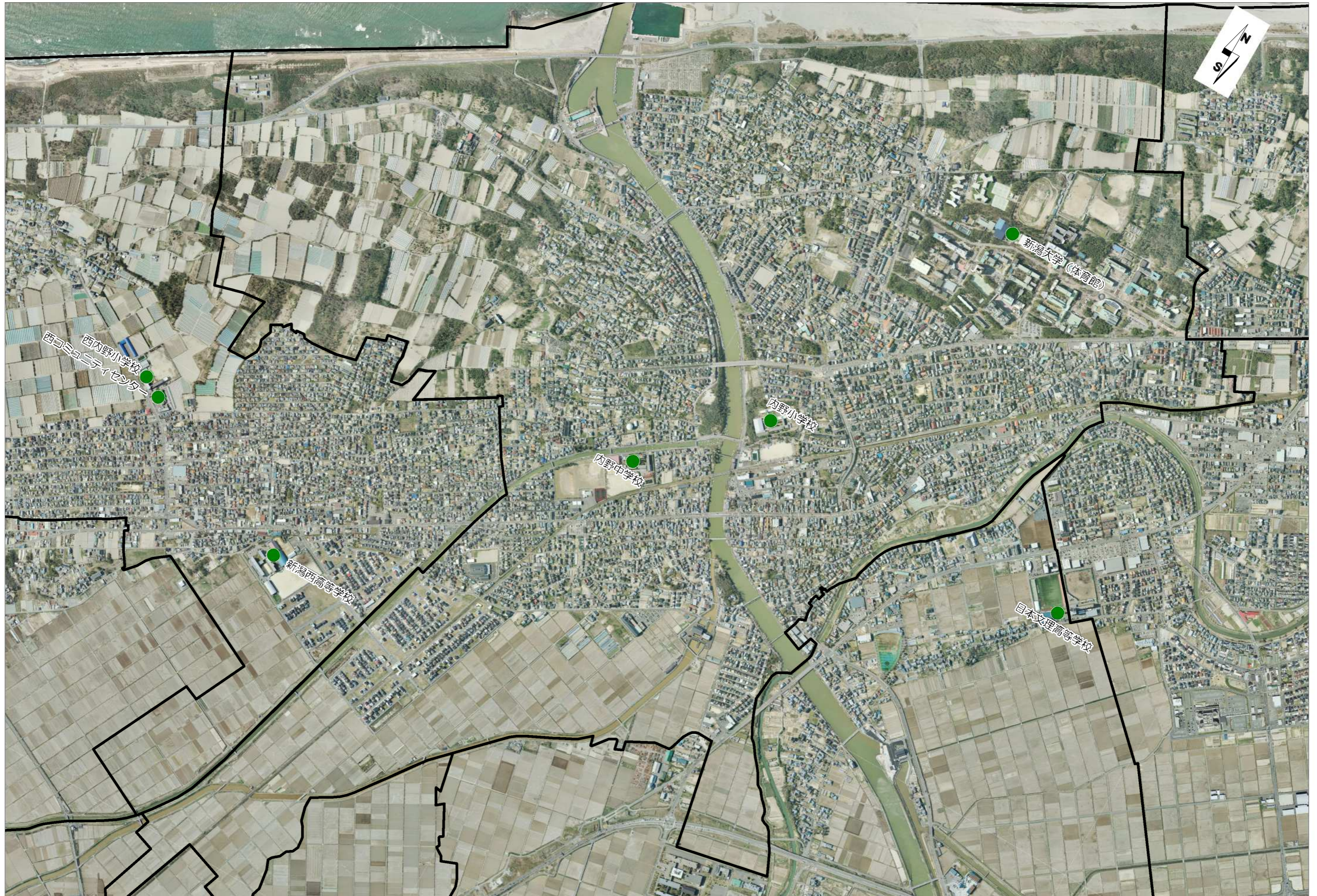


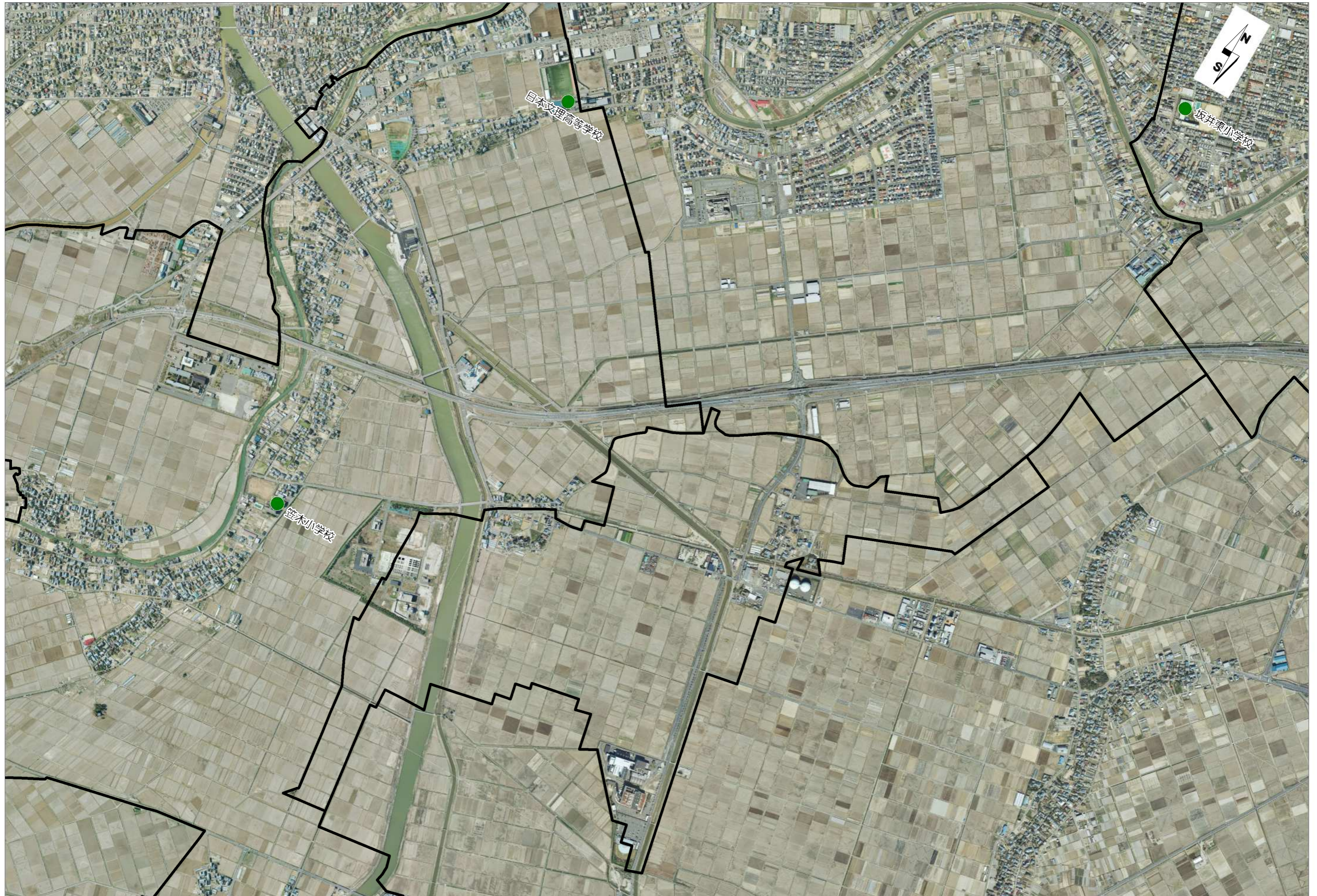


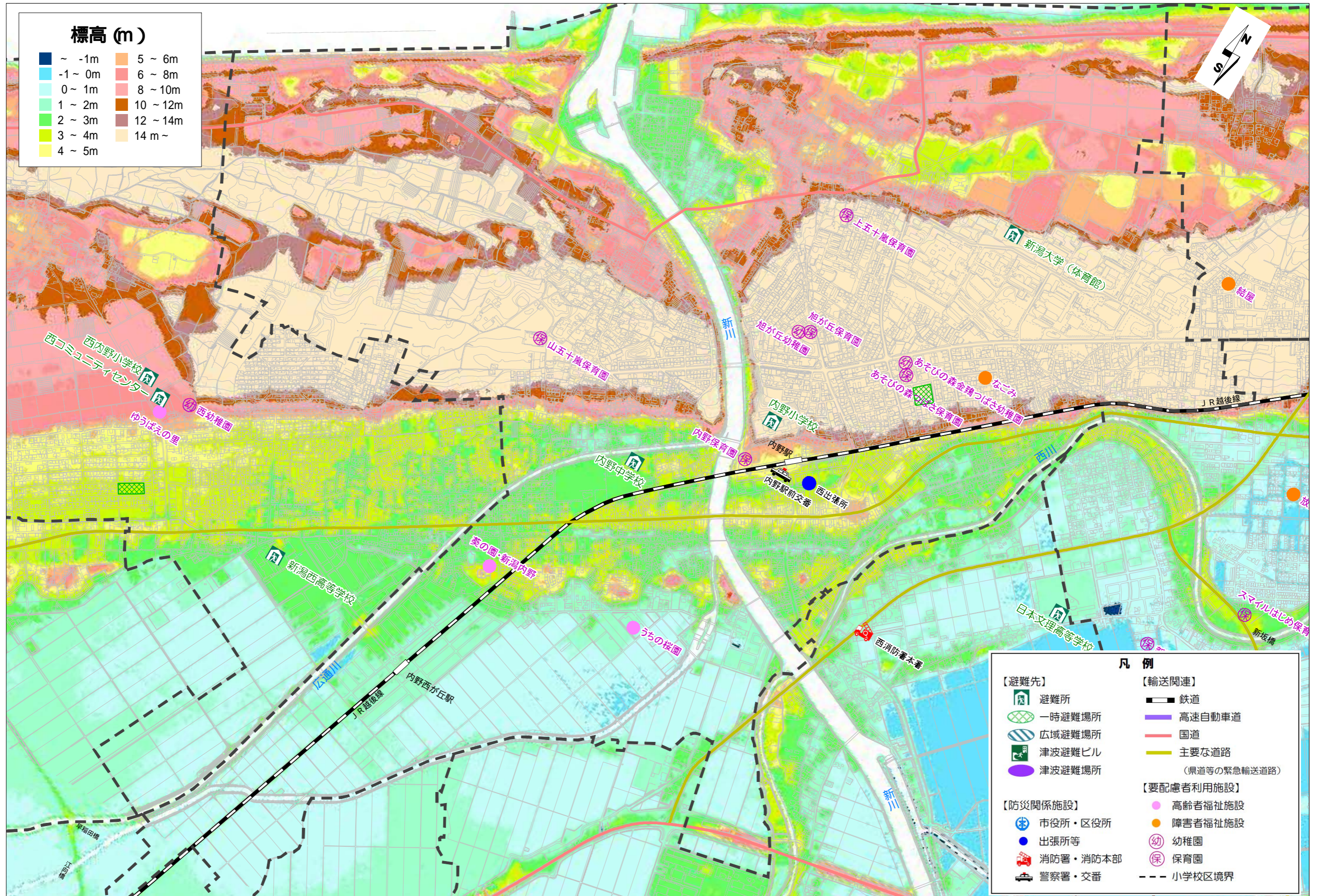
凡例	
【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
※津波避難ビルは、様式5に掲載	
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
小学校区境界	河川、水面

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



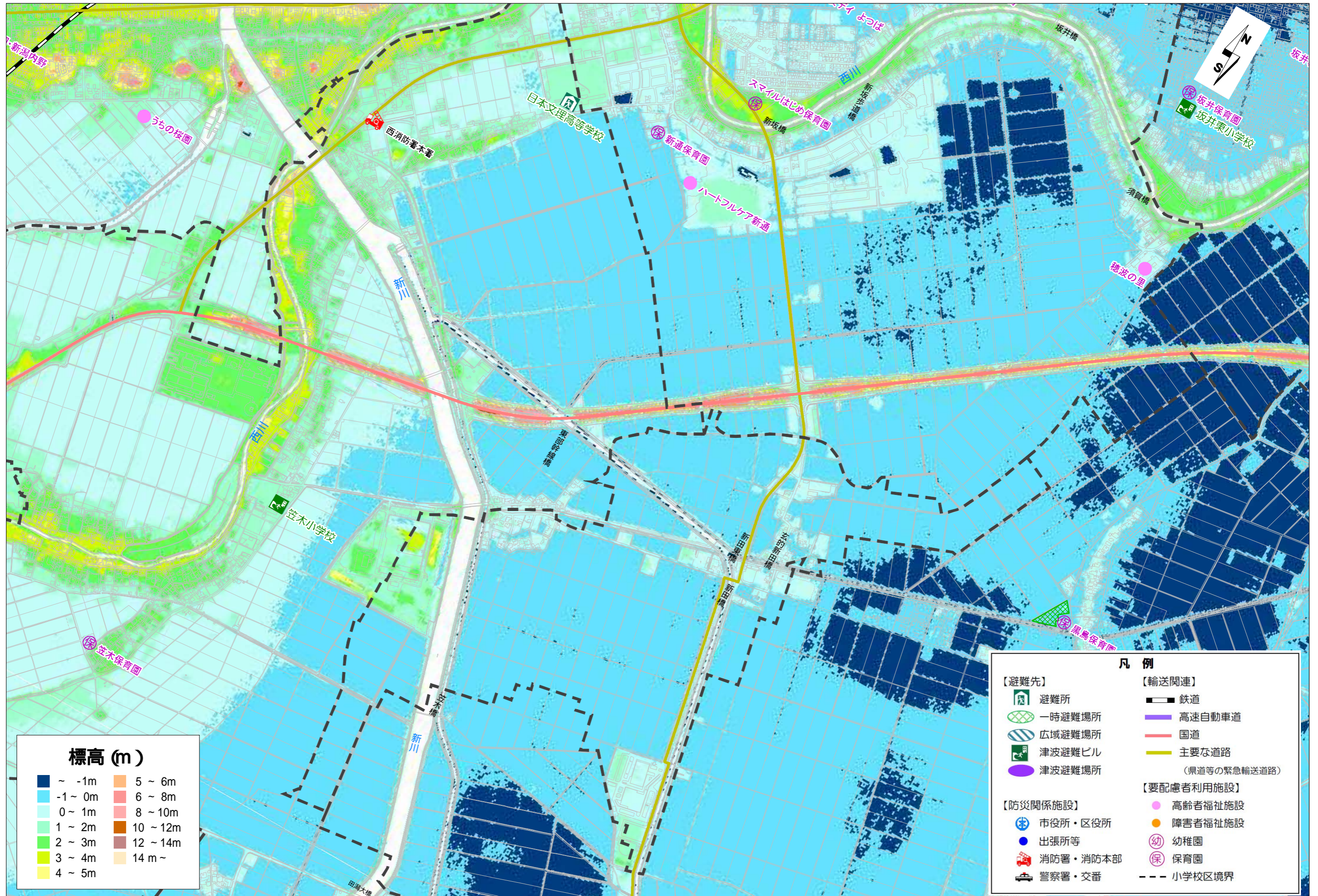






[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





標高 (m)

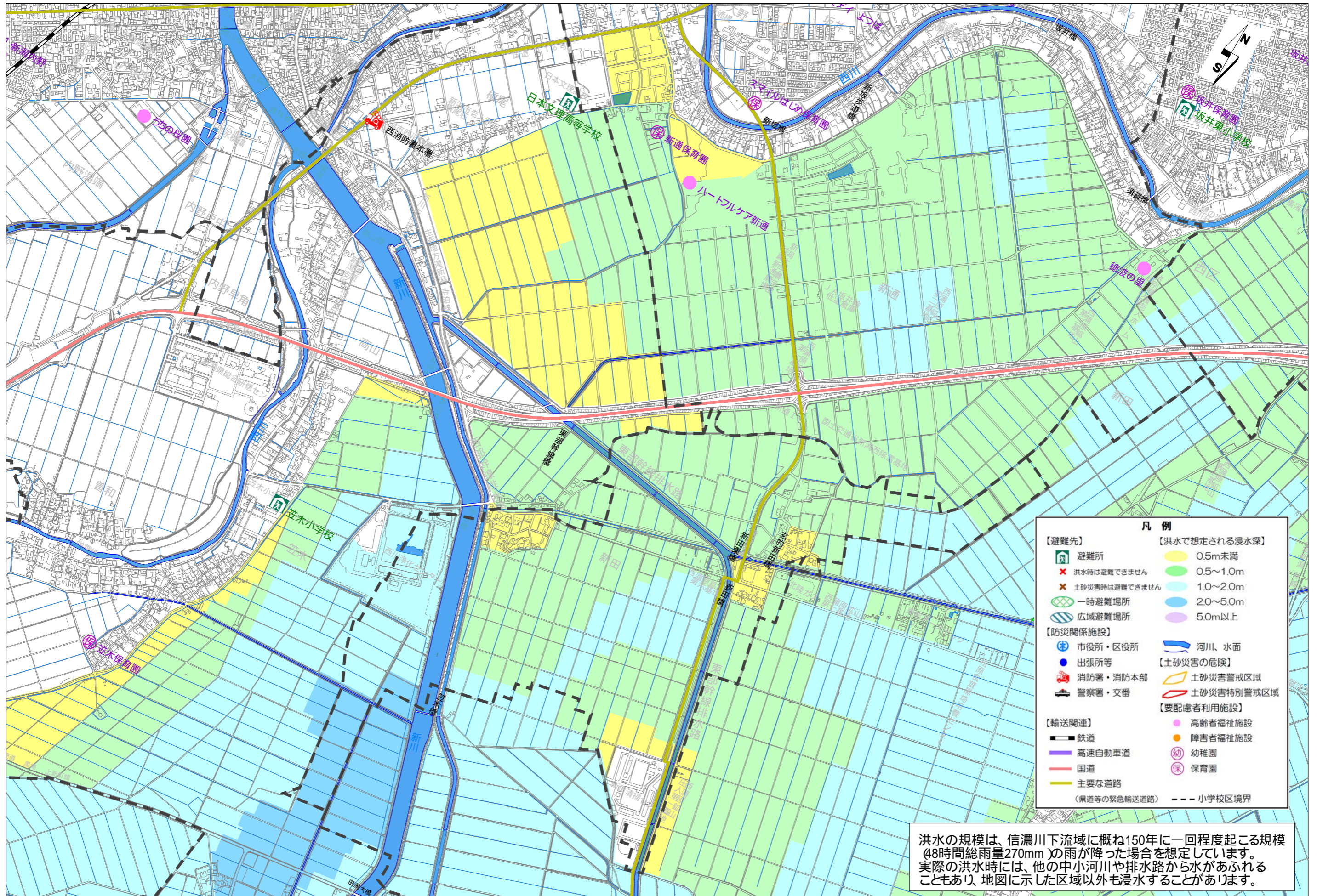
~ -1m	5 ~ 6m
-1 ~ 0m	6 ~ 8m
0 ~ 1m	8 ~ 10m
1 ~ 2m	10 ~ 12m
2 ~ 3m	12 ~ 14m
3 ~ 4m	14 m ~
4 ~ 5m	

凡例

【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
津波避難ビル	主要な道路
津波避難場所	(県道等の緊急輸送道路)
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
	小学校区境界

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



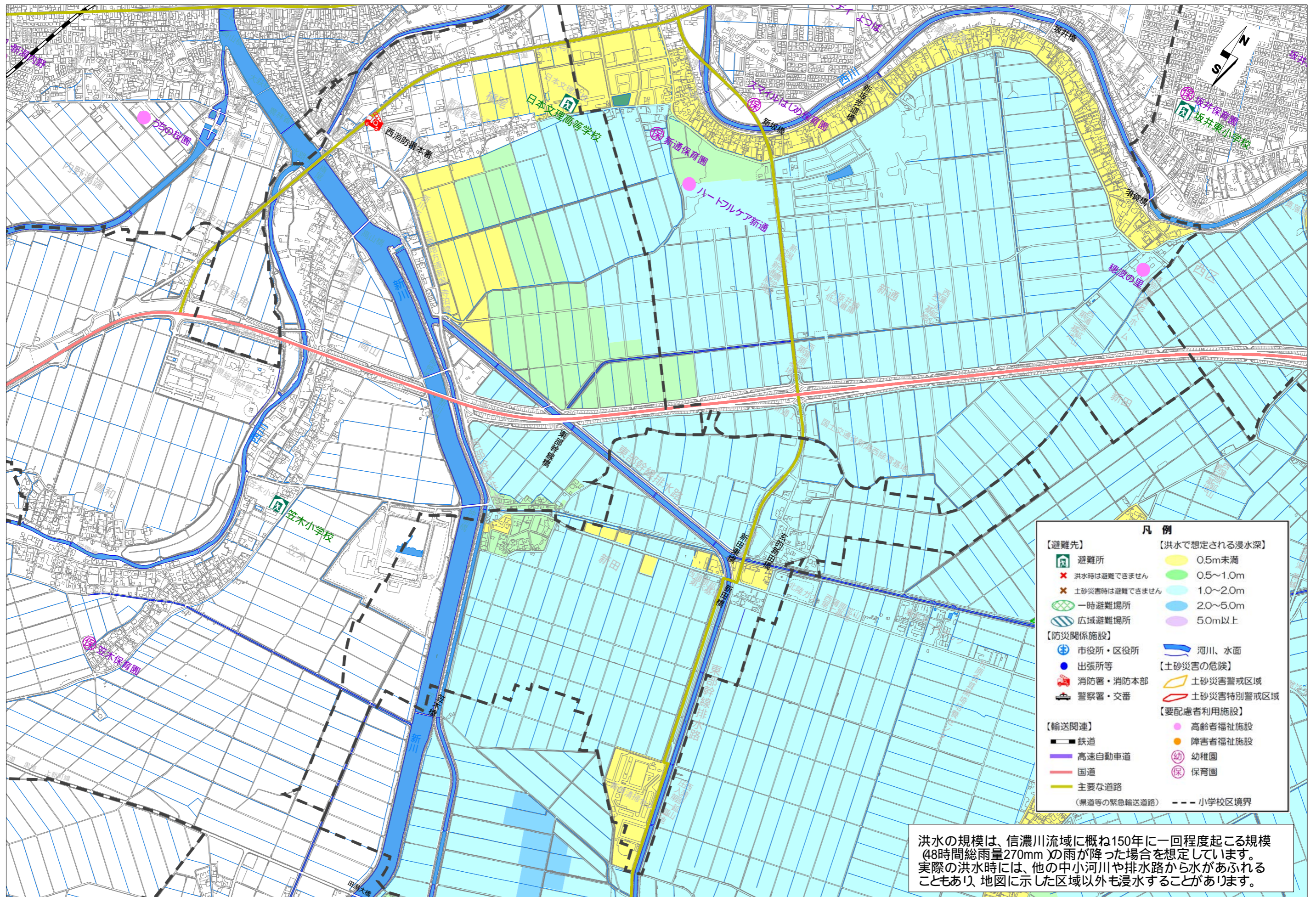


凡例	
【避難先】	【洪水で想定される浸水深】
避難所	0.5m未満
洪水時は避難できません	0.5~1.0m
土砂災害時は避難できません	1.0~2.0m
一時避難場所	2.0~5.0m
広域避難場所	5.0m以上
【防災関係施設】	【土砂災害の危険】
市役所・区役所	土砂災害警戒区域
出張所等	土砂災害特別警戒区域
消防署・消防本部	【要配慮者利用施設】
警察署・交番	高齢者福祉施設
【輸送関連】	障害者福祉施設
鉄道	幼稚園
高速自動車道	保育園
国道	
主要な道路	
(県道等の緊急輸送道路)	
	小学校区境界

洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

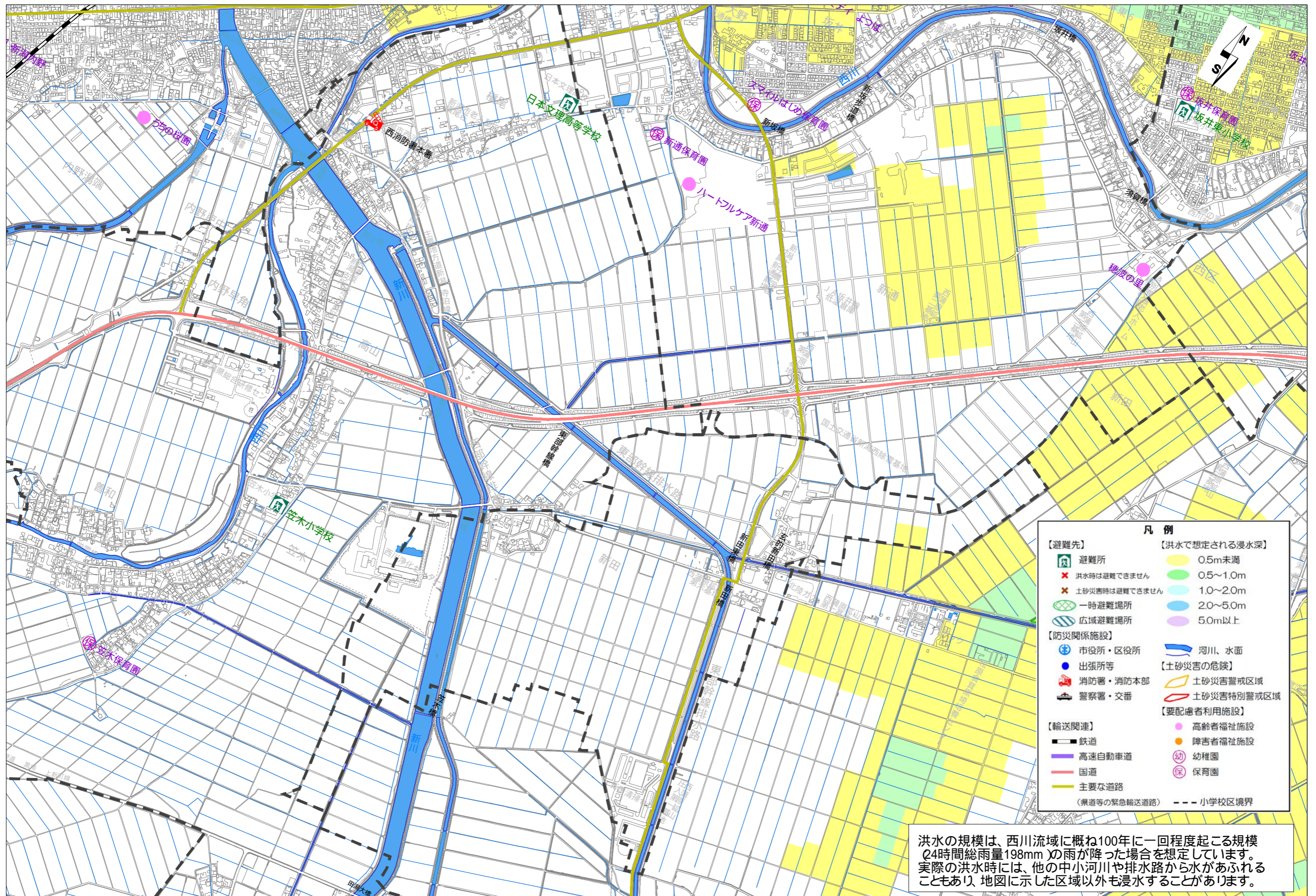
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





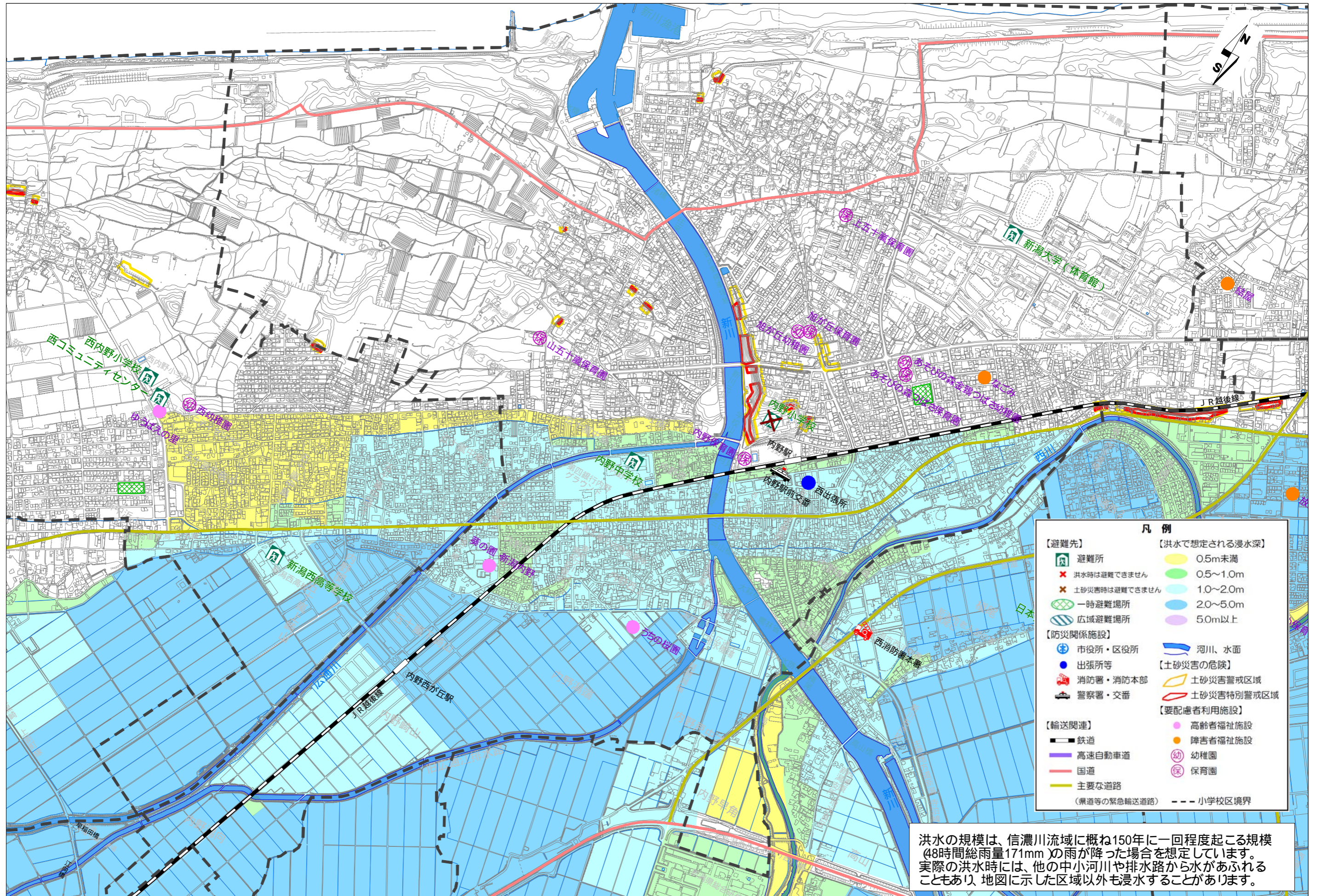
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
中ノ口川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月15日)





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
西川浸水想定区域(新潟県,平成17年6月20日)

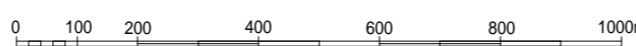


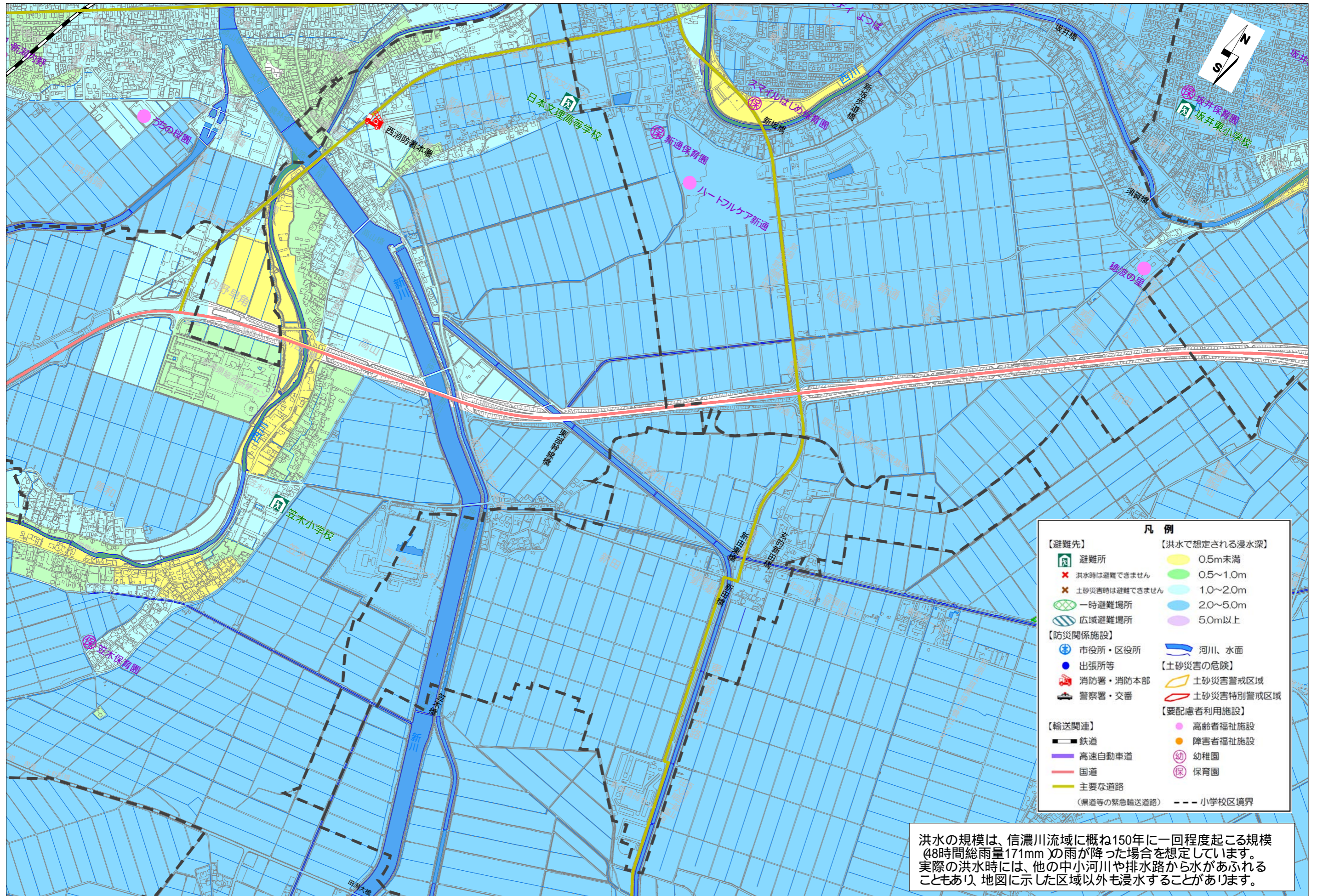


凡例	
【避難先】	【洪水で想定される浸水深】
避難所	0.5m未満
洪水時は避難できません	0.5~1.0m
土砂災害時は避難できません	1.0~2.0m
一時避難場所	2.0~5.0m
広域避難場所	5.0m以上
【防災関係施設】	河川、水面
市役所・区役所	【土砂災害の危険】
出張所等	土砂災害警戒区域
消防署・消防本部	土砂災害特別警戒区域
警察署・交番	【要配慮者利用施設】
【輸送関連】	高齢者福祉施設
鉄道	障害者福祉施設
高速自動車道	幼稚園
国道	保育園
主要な道路	
(県道等の緊急輸送道路)	
	--- 小学校区境界

洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

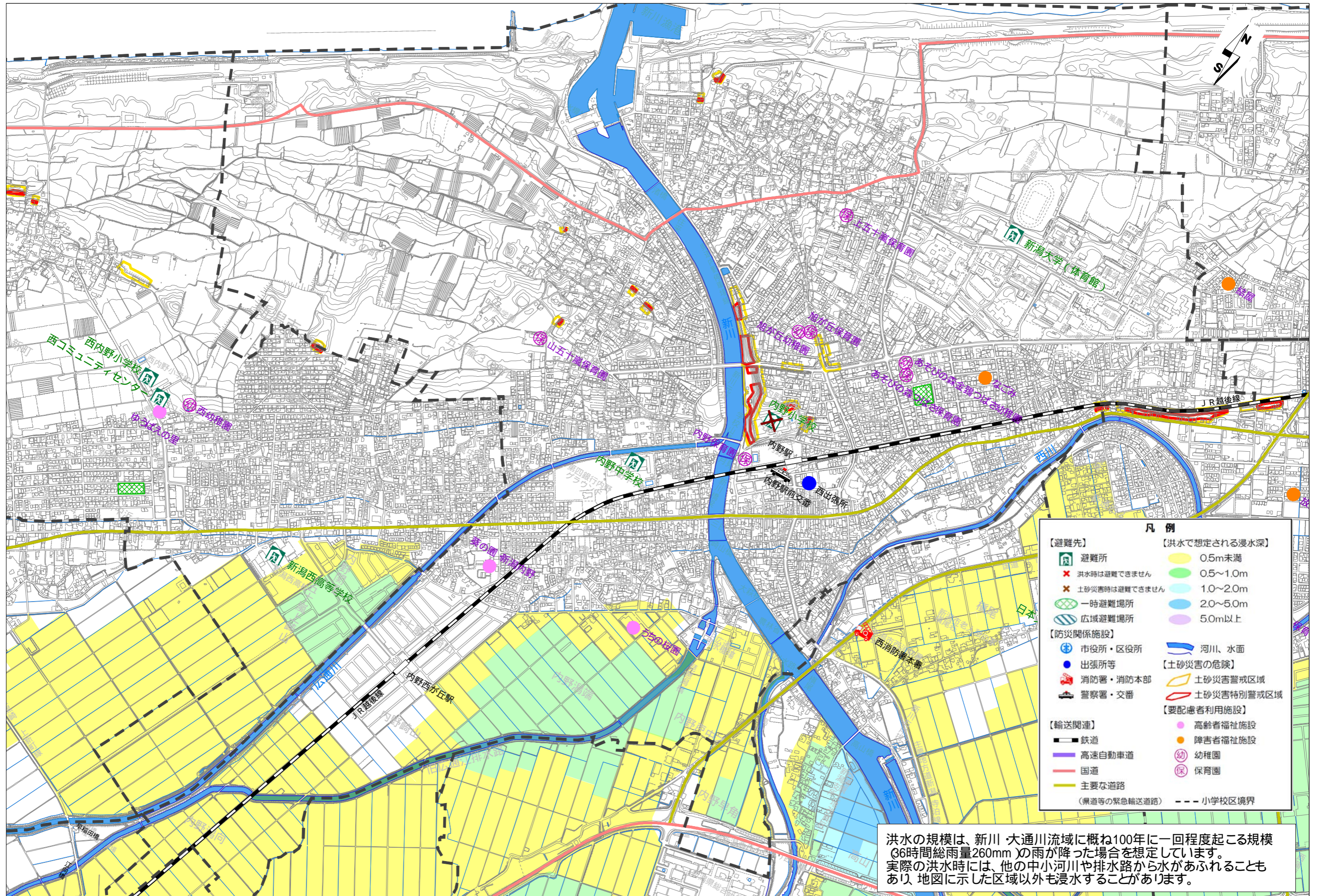
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





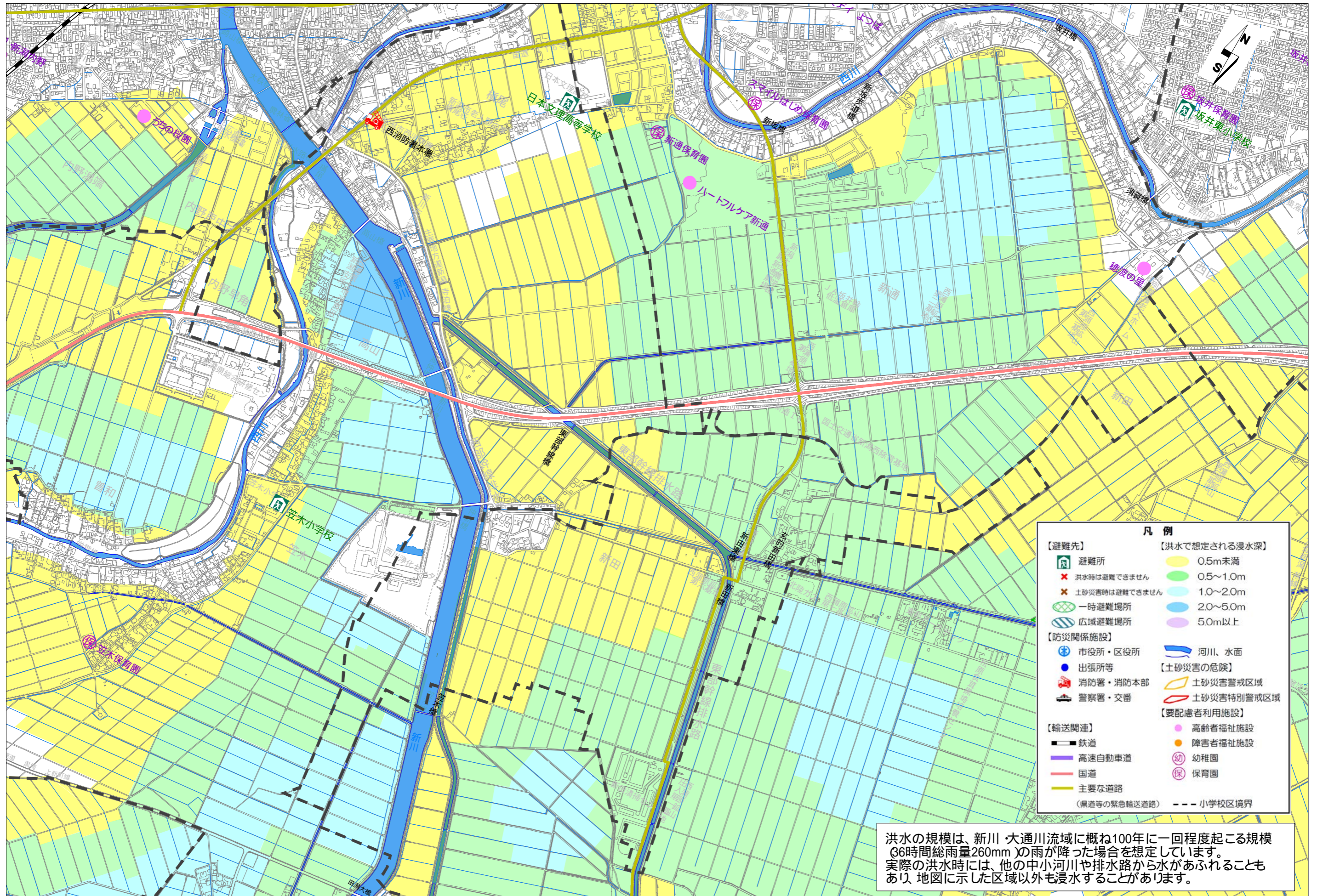
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)





[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

